

## 【会告】

# 第126回例会開催について

農業機械学会関西支部

第126回例会を下記の要領で開催しますので、研究発表を募集します。また学習・討論会や懇親会もあわせてお申し込みください。

## 記

1. 日時：2011年9月15日（木）～16日（金）
2. 場所：東急ハーヴェストクラブ「ホテルハーヴェスト南紀田辺」（イベントホール）  
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町2901番地の1  
<http://www.harvestclub.com/Un/Hotel/Na/index.html>

### 【交通機関のご案内】

#### <車>

- ・南紀田辺I.C.からR42・県道33号（約6 km）。

#### <電車・バス>

- ・JR紀勢本線「紀伊田辺」からシャトルバス（要予約）約10分。（シャトルバスの予約に関する情報は、ホテルのホームページをご覧ください。）

#### <飛行機>

- ・南紀白浜空港からタクシー 約10分。

アクセスに関する詳細は、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.harvestclub.com/Un/Hotel/Na/map.html>



### 3. 日程：

7月29日（金）

8月31日（水）

講演申込み締切

学習・検討会、例会、懇親会、ホテルの申込み締切

-----  
9月15日（木）

12:00～13:00

各種委員会（企画委員会は13:00～）

14:30～17:00

学習・討論会（企画委員会主催）

18:00～20:00

懇親会

9月16日（金）

午前

研究発表（プログラムは後日支部HPに掲載します）

12:00～13:00

昼食、役員会

午後

研究発表

関西支部賞表彰式、受賞講演

ベストプレゼンテーション賞表彰式

### 4. 第3回学習・討論会（企画委員会主催）

日時：9月15日（木）14:30～17:00

場所：イベントホール

内容：「日本農業A to Z ～農業生産者の視点から～」 （詳細はviページを御覧下さい。）

内容に関する問い合わせ先

森本英嗣（関西支部企画委員長）

石川県農業総合研究センター

〒920-3198 金沢市才田町戊 295-1

TEL: 076-239-2905 E-mail: eiji\_m@pref.ishikawa.lg.jp

## 5. 役員会：

日時：9月16日（金）12:00～13:00

場所：イベントホール

## 6. 懇親会

日時：9月15日（木）18:00～20:00

場所：ホテルハーヴェスト南紀田辺 イベントホール

会費：懇親会のみ参加の方は、5,500円

（ホテルハーヴェスト南紀田辺に宿泊の方は、宿泊料に懇親会費が含まれています。懇親会を欠席する方は、会場での受付時にお申し出ください。）

## 7. 見学会

行いません。

## 8. 申し込み方法（講演、学習・討論会の申込みは、京都大学宛になります。）

関西支部のHP（<http://eltanin.kais.kyoto-u.ac.jp/groups/jsamkansai/>）に、例会申込みフォーム（講演用、学習・討論会用）を掲載しましたので、ご利用ください。

### (1) 講演申込み（京都大学へ）

平成23年7月29日（金）までに、以下の講演申込みの内容を電子メールまたはFAXにて下記の講演申込先にお送り下さい。

#### 【講演申込内容】

※講演申込み締切：7月29日（金）

1) 発表演題

2) 所属・講演者リスト（複数の場合は講演者名の前に○印。例：△△大学農学部，田中太郎，○山田花子，鈴木一郎）

3) キーワード（3語程度）

4) 講演概要（200字以内）

5) 連絡先（Fax, E-mailなど）申し込みをいただきましたら、確認のため返信をいたします。その際の連絡先を書いて下さい。確認の返信が届かない場合には、連絡をお願いいたします。

6) どのセッションか（従来方式，新講演方式，関西支部学生プレゼンテーションのいずれかをお選び下さい）

#### 【講演申込先】

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学農学研究科農産加工学分野内

農業機械学会関西支部事務局 宛

E-mail: jsamkb@kais.kyoto-u.ac.jp

TEL: 075-753-6319（山本），6169（小川），6170（近藤）

FAX: 075-753-6171（農産加工学分野事務）

講演に用いる機材は液晶プロジェクタに限ります。液晶プロジェクタは会場に準備します。ノートパソコンは発表者が持参して下さい。

講演会は次の3種類のセッションを設ける予定です。

◆従来方式：1演題15分前後

◆第116回例会から導入された新講演方式：1演題30分

新講演方式は30分を時間の単位とし、単独または複数の講演者が、学術研究、技術開発、現場報告を問わず課題を設定する。また、今までに挙げてきた成果を集成するような報告なども、できる限り制限を設けない。ただし、なんらかの新しい展開を示唆するようなものが望ましい。（講演時間と質問時間の配分は講演者に任せる）

◆関西支部学生プレゼンテーション：1演題15分前後

関西支部学生プレゼンテーションのセッションは、これまでの企画委員会学生プレゼンテーションに代わるセッションです。詳細はviiiページに記載の「農業機械学会関西支部学生ベストプレゼンテーション賞のご案内」をご覧ください。

### 「1分間要点プレゼンテーション」実行のお願い

関西支部企画委員会では、活発な議論を展開するための講演スタイルの検討を行っています。第120回例会から、最初の1分間を使って、研究成果の全体像を説明していただく「1分間要点プレゼンテーション」スタイルを推奨することになりました。「従来方式」および「関西支部学生プレゼンテーション」のセッションに申し込まれる発表者が対象となります。ご協力をお願いいたします。「1分間要点プレゼンテーション」スタイルについてはviiページを御覧ください。

## (2) 学習・討論会（企画委員会主催）、例会、懇親会の申込み（京都大学へ）

平成23年8月31日（水）までに、以下の例会参加申込書の内容を電子メールまたはFAXにて下記の申込先にお送りください。例会のみ参加の方も、準備の関係上、同日までにお申し込みください。

### 【参加申込内容】

※参加申込み締切：8月31日（水）

※団体で申し込まれる場合は、各人ごとに申込書を作成されるか、あるいは全員の氏名を明記の上、各人の申込み内容が記入された一覧表をお送り下さい。

※参加費は当日徴収させていただきます。

申込日：

氏名：（学生会員は「学生」と明記して下さい）

所属：

連絡先（E-mail, FAXなど）：

学習・討論会（企画委員会主催）（15日（木））：参加／不参加 【無料】

懇親会：参加／不参加

例会（16日（金））：参加／不参加 【1,000円】

懇親会費（5,500円）はホテルハーヴェスト南紀田辺への宿泊費に含まれています。懇親会のみご参加の方は、申し込み時にお知らせください。

## 9. 宿泊申し込み（現地担当：宮本久美（和歌山県農林水産総合技術センター）へ）

本例会の会場となるホテルハーヴェスト南紀田辺に宿泊を希望する方は、以下の申し込み情報を宮本久美（和歌山県農林水産総合技術センター）までお送りください。なお、団体で申し込まれる場合は、同室の方のお名前などを一覧表にて取りまとめの上、お申し込みください。会場ホテル以外への宿泊は、直接各自で宿泊施設にお申し込みください。

申込日：

氏名：（学生会員は「学生」と明記して下さい）

所属：

連絡先（E-mail, FAXなど）：

懇親会：参加／不参加

宿泊タイプ：（以下の表から希望の宿泊タイプを選んでください）

例会終了後の宿泊：希望します／希望しません

一部屋最大5名まで

宿泊タイプ	宿泊日	ご利用内容		単 価	備 考
15-1	9月15日	ご宿泊代(2食付)	1名利用	15,000	懇親会込み
15-2		ご宿泊代(2食付)	2名利用	12,000	懇親会込み
15-3		ご宿泊代(2食付)	3名以上	10,000	懇親会込み
16-1	9月16日	ご宿泊代(朝食付)	1名利用	9,000	
16-2		ご宿泊代(朝食付)	2名利用	7,500	
16-3		ご宿泊代(朝食付)	3名以上	7,000	

会期以降も宿泊を希望する場合、17日～19日は連休に入るため、16日の値段にプラス1,500円（朝食付）でご利用できます。予約時にお知らせください。

ホテルハーヴェスト南紀田辺への宿泊申し込み、問い合わせは下記にご連絡ください。

現地担当： 宮本 久美

和歌山県農林水産総合技術センター・果樹試験場

〒643-0022 和歌山県有田郡有田川町奥751-1

TEL: 0737-52-4320 FAX: 0737-53-2037

E-mail: [kmiyamo@cypress.ne.jp](mailto:kmiyamo@cypress.ne.jp)

# The 126<sup>th</sup> Kansai branch of JSAM Regular Meeting

The 126th regular meeting of Kansai branch of JSAM will be held at Tokyu Harvest club Hotel Harvest Nanki-Tanabe, Wakayama prefecture, Japan, on September 15 (Tue) – 16 (Fri), 2011. Not only Japanese but also any foreign participants are welcome.

## Location:

Tokyu Harvest club Hotel Harvest Nanki-Tanabe (Event hall)  
<http://www.harvestclub.com/Un/Hotel/Na/index.html> (Sorry Japanese page only)



## Program:

September 15 (Tue)	12:00 – 13:00	Committee meeting
	14:30 – 17:00	Symposium (Japanese only)
	18:00 – 20:00	Banquet
September 16 (Fri)	Morning	<u>Oral Sessions 1</u>
	12:00 – 13:00	Lunch
	Afternoon	<u>Oral Sessions 2</u>
		Awarding ceremony

## Important Dates:

July 29 (Fri)	Application deadline (Presentation)
August 31 (Wed)	Application deadline (Participation in regular meeting and Banquet)

## Participation fees:

Meeting Fee	1,000 JPY
Banquet Fee	5,500 JPY
Hotel charges	~15,000 JPY (including banquet fee)

## Note:

For details on participation, please ask contact person of your affiliation group or head office of Kansai branch, JSAM.  
HP: <http://eltanin.kais.kyoto-u.ac.jp/groups/jsamkansai/>

## 第3回学習・討論会のご案内

# 「日本農業A to Z ～農業生産者の視点から～」

主催：関西支部企画委員会

農業機械学会関西支部第126回例会において第3回学習・討論会「日本農業A to Z ～農業生産者の視点から～」を下記のとおり企画しております。

日本農業は1年で20万人にも及ぶ農業従事者の減少、40%にとどまる食料自給率など厳しい現状と課題を抱えています。また、農業分野においてもグローバル化の波が押し寄せており、これからの農業の在り方について早急に検討していくことは、生産者や行政だけでなく、研究機関においても責務と言えます。そこで、関西支部企画委員会では現場の生産者をお招きして個々の視点より現場の現状や課題をお話いただき、これからの日本農業の在り方ならびに企業・大学・公設試が解決すべき研究課題についても討議いたします。奮ってご参加くださいますようお願い致します。

日 時：2011年9月15日（木）14:30～17:00

※学習・討論会終了後に懇親会も予定しております。

場 所：ホテルハーヴェスト南紀田辺 イベントホール

プログラム／

司会 森本英嗣（関西支部企画委員長）

14:30～14:35 あいさつ

近藤 直 氏（農業機械学会関西支部長，京都大学大学院農学研究科 教授）

14:35～16:15 I 講演 1名20分程度

参加予定生産者（予定）

生産者名	栽培作物	栽培規模	生産地域
竹中 正	温州みかん，晩柑類，トマト	1ha（未満）8a	和歌山県有田市宮原町
花光重一郎	梅，みかん，野菜		和歌山県田辺市秋津川
久喜 正雄	温州みかん，晩柑類	約1.5ha	和歌山県有田市宮原町
岩本 治	温州みかん，晩柑類	約2ha	和歌山県海南市下津町
榊原 伸泰	大葉，洋ハーブなど		愛知県豊橋市

16:15～17:00 II パネルディスカッション

コーディネータ 梅田大樹 氏（豊橋サイエンスクリエイティブ）

コメンター 宮本久美 氏（和歌山県農林水産総合技術センター）

【参加費】 無料

【参加申し込み方法】

iii ページに記載の「参加申込内容」に学習・討論会，例会，懇親会の申し込み方法が記載されています。この形式によりお申し込みください。

【申し込み締め切り日】

8月31日（水）

【問い合わせ先】

企画委員長

森本英嗣（石川県農業総合研究センター）

〒920-3198 金沢市才田町戊 295-1

TEL: 076-239-2905 E-mail: eiji\_m@pref.ishikawa.lg.jp

## 第126回支部例会講演発表者の皆様 活発な議論を展開するための1分間プレゼンテーションの実行と3つのお願い

関西支部企画委員会

下記事項をご覧いただき、活発なディスカッションができる講演会作りにご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 1分間プレゼンテーションのスタイルについて

講演開始直後の1分間を使って、研究内容の概要を簡潔に説明してください。論文で言う「abstract」に相当します。1分間に話せる量は、400字程度の文章とお考えください。1分経過後は、聴衆の反応を見ながら具体的な研究成果の説明に移ります。1分経過時に発表者に合図をすることはいたしません。

参考までに、最初の1分間に話す内容の一例をご紹介します。この例では、1分間の前半で研究背景を説明し、後半で研究目的・研究成果を説明します。プレゼンテーションの構成は自由に設定して頂いて結構ですが、聴衆を自分のプレゼンテーションに引き込む工夫をしてください。

#### 1. 研究背景について

「深刻な〇〇の問題を解決するためには〇〇の開発が必要不可欠であり、」、 「我々はこれまで、〇〇を実現する〇〇を開発してきたが、〇〇の部分に問題があった。」など、研究の必要性を訴え、理解してもらおう。

#### 2. 研究目的・研究成果について

「そこで、〇〇の問題を解決する方法として、今回新たに〇〇のシステムを開発した。検証実験では、開発した〇〇システムは〇〇という良い結果を示したので、報告させていただきます。」など、良い成果が得られたのか、余りよい結果が得られなかったのかの結論を述べる。

### 講演スタイルについての3つのお願い

#### 1. 大切な基本姿勢

身体を聴衆側に向け、スクリーンを見る時間は必要最低限に抑えるなど、聴衆の反応を常に意識してください。

#### 2. 図解による発表原稿づくり

講演原稿に書かれた文章をひたすら読み続けることをしないためにも、発表原稿は図解を中心とし、そのスライドが伝えたいメッセージをイメージで理解できるよう構図を作成してください。

#### 3. ディスカッションを楽しむための準備

聴衆とのディスカッションを楽しむために、聴衆の反応をあらかじめ想定しながら発表原稿を作成してください。プレゼンテーション中には、門外漢でも全体像が理解できるよう表現方法を工夫してください。講演後に質問が数多く出るような雰囲気づくりを心掛けてください。

# 学生・大学院生の諸君！！

## 「農業機械学会関西支部学生ベストプレゼンテーション賞」のご案内

関西支部表彰委員会

従来、企画委員会が主体となって最も優れた研究発表を行った学生あるいは大学院生に対して「農業機械学会関西支部 企画委員会 学生ベストプレゼンテーション賞」を授与しておりました。本年度（22年度）より、プレゼンテーションに対する意識と技術のさらなる向上を目指し、関西支部自体が主体となり、「農業機械学会関西支部 学生ベストプレゼンテーション賞」を授与することになりました。

学生諸君、「学生プレゼンテーション」セッションへ是非応募してください。講演申込時において、「どのセッションか」の項目に「学生プレゼンテーションセッション」を選んでいただくことにより応募できます。諸君の素晴らしい研究成果ならびに研究発表を期待しております。なお、「学生プレゼンテーション」セッション以外にも、これまでと同じ通常の研究発表も同時に開催されますので、学生諸君はいずれにも申し込み可能です。

問い合わせ先

ヤンマー株式会社 技術統括部 開発管理グループ

山田 久也

〒521-8511 滋賀県米原市梅ヶ原1600番地の4

TEL: 0749-52-8420, FAX: 0749-52-6368

E-mail: hisaya\_yamada@yanmar.co.jp

### ◆支部報111号（2月号）への論文投稿について

第126回例会発表の原稿論文の締め切りは、投稿規程により、平成23年10月14日となります。投稿規程・投稿細則（本誌巻末）に基づき、テンプレートを参考にして作成してください。支部ホームページ[<http://eltanin.kais.kyoto-u.ac.jp/groups/jsamkansai/>]からテンプレートファイルをダウンロードできます。投稿規程・投稿細則から大きく逸脱したり、印刷上の困難が予想される原稿については、事務局より修正依頼を行うことがあります。細かい書式については執筆者の責任において提出願います。

できるだけ白い紙にプリントされた出力原稿と、CD-RにコピーしたMS-WORDを下記まで郵送願います。原稿裏面には鉛筆で、講演番号とページ順を書いてください。または、概ね5 MB以下のファイルの場合には、MS-WORDとそれから作成されたPDFファイルを、下記アドレスにメール添付して提出していただけます。この場合、頂いたPDFファイルの書式を参照しつつ、事務局で出力の上印刷に回しますので、PDFファイルにおける図・表・数式などの配置には特にご注意ください。

#### 【原稿送付先】

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学農学研究科農産加工学分野内

農業機械学会関西支部事務局 宛

電子メール：jsamkb@kais.kyoto-u.ac.jp



## To all Undergraduate and Graduate Students!

### Announcement of “Student Best Presentation Award, Kansai Branch, JSAM”

Hisaya Yamada  
Chair of Award Committee, Kansai Branch  
1600-4, Umegahara, Maibara, Shiga 521-8511  
Phone: 0749-52-8420, FAX: 0749-52-6368  
E-mail: hisaya\_yamada@yanmar.co.jp

I am very glad to announce this “Best Presentation Award, Kansai Branch, JSAM” to all student members. We are supposed to honor two students giving outstanding presentation (one each session) with a testimonial commending at the meeting in order to encourage all students to improve presentation skills in English or Japanese. Any student holding membership of Kansai Branch, JSAM is welcome to “Student Presentation Session”. **Do not forget to check “Student Presentation Session” on application form.** Students can apply both to this session and to usual session.

#### ◆Paper submission to Journal of Kansai Branch, JSAM No.111 issued in February

According to the contribution rules on paper submission, deadline of paper submission is October 14, 2011 (a month later the meeting). Submit manuscript by the deadline after writing based on a template which can be downloaded from website of Kansai Branch, JSAM.

<http://eltanin.kais.kyoto-u.ac.jp/groups/jsamkansai/>

It is required that authors have full responsibility including matters on copyright for the submitted paper, because papers are non-reviewed. Authors may be, however, suggested to revise manuscripts, in case that they are out of the rules or there is a difficulty to print. Send both printed-out papers and its MS-Word file with CD-R to the below postal address. Write presentation number at the meeting and page numbers on bottom side of papers in pencil. Or, e-mail MS-Word file and its PDF file if they are less than 5 MB as attachment files. In latter case, figures, tables, and equations should be carefully created on the papers, because they are printed out at the head office.

Postal address: Head Office, Kansai Branch, JSAM  
Laboratory of Agricultural Process Engineering  
Graduate school of Agriculture, Kyoto University  
Kitashirakawa-Oiwakecho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8502

E-mail address: jsamkb@kais.kyoto-u.ac.jp

# アルゴリズムコンテスト開催&挑戦者求む

農業機械学会 Rux 2000 生物生産のためのマシンビジョン研究会  
プロジェクトリーダー：近藤 直

本研究会は、参加者間の情報交換によるマシンビジョン技術の向上および学生を含む若手研究者・技術者のマシンビジョン研究におけるモチベーションの向上を主な目的として、2009年より農業機械学会の Rux 2000 プロジェクトとして立ち上げられた研究会です。主な活動として、年に一度アルゴリズムコンテストおよび研究会（アルゴリズムコンテストの表彰式および優秀作品の紹介）の開催を行っています。

## アルゴリズムコンテスト：

課題：穀物（大豆、小豆、粳、精米）の数をカウントするアルゴリズムの作成  
ポイント 1：穀物の重なりを如何に対処するか  
ポイント 2：4種類の穀物を同じプログラム中で如何に処理するか



## 賞金：

最優秀賞 (1人) : 2万円、優秀賞 (1人) : 1万円

## 研究会 (表彰および優秀作品の紹介)：

最優秀賞および優秀賞に輝いた方には、農業機械学会年次大会中に実施される研究会の中でアルゴリズムの紹介をして頂くことを考えています。優秀者で本研究会に参加して頂ける方には、往復の交通費およびホテル 1泊分の費用を支給します。参加できない場合は、アルゴリズムの説明書を作成頂き、それを基に本会役員が代わりに説明致します。

## 日程：

課題提出締め切り： 2011年7月29日(金) 17:00  
優秀者の発表： 2011年8月8日(月)  
研究会： 第70回農業機械学会年次大会(弘前大学)中に行います。  
年次大会日程：9月26日(月)～29日(木)

詳しくは下記 HP をご覧ください。応募される方は、募集要項をダウンロードし、よく読んで応募して下さい。また、今回はサンプルプログラムおよび解説書の配布を行っております。今まで画像処理およびプログラミングをやったことがない人でも簡単に始めることができます。是非、挑戦して下さい。

HP: <http://www.aptech.kais.kyoto-u.ac.jp/BioVision/2011/down.html>

ご質問、ご要望などございましたら下記までご連絡下さい。

## 連絡先：

生物生産のためのマシンビジョン研究会 セクレタリ  
京都大学農学研究科 椎木友朗  
電話：075-751-6319, E-mail: [tshiigi@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:tshiigi@kais.kyoto-u.ac.jp)

生物生産のためのマシンビジョン研究会  
Study Group of Machine Vision for Bio-production

# Join in the Algorithm Contest

Study Group of Machine Vision for Bio-production, Rux 2000, JSAM  
Naoshi Kondo (Kyoto Univ.), Project leader

This study group was started as a Rux 2000 project, the Japanese Society of Agricultural Machinery (JSAM) in order to learn and exchange techniques on machine vision in bio-production since 2009. It has two prior activities in a year: **Algorithm Contest** and **Study Meeting** (including award ceremony and the best algorithm presentation).

## Algorithm Contest:

Assignment: Make an algorithm to count number of grains (husked rice, milled rice, soy beans, and red beans).

Point 1: How to count number of overlapped grains.

Point 2: How to count above four varieties of grains in a program.



## Award:

The best algorithm award (1 algorithm, **20,000 yen**)

The outstanding algorithm award (1 algorithm, **10,000 yen**)

## Study Meeting:

Persons who received the awards are supposed to present explanation of them at the study meeting held in the JSAM annual meeting. The travel fees (round trip from the awarded persons' locations) and hotel fees (1 night) are also provided by this Rux 2000 project. In case that the awarded persons cannot attend the study meeting, they are required to make documents for explanation on their algorithms, which will be introduced in the study meeting.

## Important days:

Dead line of algorithm submission: **17:00, 29<sup>th</sup> (Fri.), July, 2011**

Announcement of the best algorithm awards: **8<sup>th</sup> (Mon.), August, 2011**

Study Meeting in the JSAM annual meeting 2011, Hirosaki Univ., Aomori Pref.:

An hour of a day among **26<sup>th</sup> (Mon.) – 29<sup>th</sup> (Thu.), September, 2011**

Details are described on web page (see below URL). Please download documents and images of this algorithm contest guideline. **A sample program with an instruction can be also downloaded** from the HP to encourage beginners to join this contest. Anyone is welcome!!  
HP: <http://www.aptech.kais.kyoto-u.ac.jp/BioVision/2011E/down.html>

## Contact:

Tomoo Shiigi, Secretary, Study Group of Machine Vision for Bio-production,  
Graduate school of Agriculture, Kyoto University,  
Phone: 075-753-6319, E-mail: [tshiigi@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:tshiigi@kais.kyoto-u.ac.jp)

生物生産のためのマシンビジョン研究会

Study Group of Machine Vision for Bio-production